

「当院における直腸粘膜下腫瘍に対する内視鏡的粘膜下層剥離術の治療成績」に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属溝口病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間:2019年6月27日 ~ 2021年12月31日

〔研究課題〕

当院における直腸粘膜下腫瘍に対する内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD: Endoscopic submucosal dissection）の治療成績

〔研究目的〕

消化管の直腸粘膜下腫瘍に対する ESD の治療効果と安全性を明らかにします。

〔研究意義〕

従来は内視鏡的吸引粘膜切除法を併用した内視鏡的粘膜切除術が行われていましたが、ESD による治療成績安全性が高いことを明らかにします。

〔対象・研究方法〕

2015年4月から2019年1月までに当院で施行した内視鏡的粘膜下層剥離術を対象とし、完全切除などの治療効果、出血の有無などの安全性を調査します。

〔研究機関名〕

帝京大学医学部附属溝口病院 消化器内科

〔個人情報の取り扱い〕

匿名化し個人情報を保護します。個人情報が病院外に持ち出されることはありません。

〔その他〕

対象となる職員で、ご自身の情報の使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者：網島弘道（帝京大学医学部附属溝口病院 消化器内科 助教）

住所：川崎市高津区二子 5-1-1 TEL：044-844-3333(代表)〔内線 3487〕